

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	山形デザイン専門学校
設置者名	学校法人 加藤学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養	ビジュアルデザイン科	夜・通信	1,140 時間	160 時間	
	環境デザイン科	夜・通信	1,620 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.yacd.ac.jp/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山形デザイン専門学校
設置者名	学校法人 加藤学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.yacd.ac.jp/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	デザイン事務所経営	2018.06 ~ 2020.05	学習指導のアドバ イス
非常勤	元 私立高校事務局長	2018.06 ~ 2020.05	組織運営のアドバ イス
非常勤	山形大学名誉教授	2018.06 ~ 2020.05	学習指導のアドバ イス
非常勤	住職	2018.06 ~ 2020.05	学生指導のアドバ イス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山形デザイン専門学校
設置者名	学校法人 加藤学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画書の作成：教科の到達目標、授業内容の配分を担当各教員が提出したものを、日程調整をしたものを教員会議にて決定、校長が認可し、翌年4月より施行する。 ・ 授業計画書の公表：HP上にて行う 	
授業計画書の公表方法	https://www.yacd.ac.jp/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
レポート、試験、課題提出およびその内容、出席日数を、到達目標にてらして評価し、単位を付与	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 試験は100点を満点として11段階評価、出席率は100%を皆出席として75%以上の出席を進級・卒業の目安とする。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.yacd.ac.jp/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業制作の審査は年末と卒展会場での2回行い、通常授業の単位とあわせて基準以上を取得した者を、職員会議にて判断する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.yacd.ac.jp/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	山形デザイン専門学校
設置者名	学校法人 加藤学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.yacd.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://www.yacd.ac.jp/
財産目録	https://www.yacd.ac.jp/
事業報告書	https://www.yacd.ac.jp/
監事による監査報告（書）	https://www.yacd.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化教養	専門	デザイン	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2112単位時間／156単位 単位時間／単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100人	29人	0人	4人	14人	18人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）所謂田舎でのデザイン方面での就職に必要な技能を、ニーズに合わせ毎年内容をアップデートしつつ習熟計画を組んでいる。
成績評価の基準・方法
（概要）試験、実習と制作物の提出、レポート、出席などを総合して判断する
卒業・進級の認定基準
（概要）進級：1年次取得可能な88単位中78単位を取得した者 卒業：2年次取得可能な88単位中78単位を取得した者 上記について職員会議ではかった上、進級・卒業を決定する。
学修支援等
（概要）単位が不足であった者については補講を行う（年間5科目まで）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	人 (%)	9人 (60%)	6人 (40%)
（主な就職、業界等） デザイン会社、建築デザイン会社			
（就職指導内容） 面接指導、ポートフォリオや書類作成の指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） web デザイナー検定、建築施工管理技士など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	1人	3.7%
（中途退学の主な理由） 大学への進学		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学力不足者への個人指導、精神的な不安がある者については保護者（出身校）との連携をとる。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ビジュアルデザイン科	100,000 円	855,000 円	約 10 万円	
環境デザイン科	100,000 円	855,000 円	約 10 万円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yacd.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 毎年3月に行われる理事会にて学校運営、教育活動の内容などについて評価を実施。 頂いた指摘やアドバイスを次年度以降の運営に活用する、		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
建築デザイン事務所 副社長	2019年4月～ 2021年3月	業界関連
建築デザイン室 室長	2019年4月～ 2021年3月	業界関連
銀行 支店長	2019年4月～ 2021年3月	金融関係
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.yacd.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	山形デザイン専門学校
設置者名	学校法人 加藤学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの 限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。